



2022 年 3 月 29 日

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

ソニーの予測分析ツール「Prediction One」、
AI の実務運用を効率的に支援する「モデル監視機能」を提供開始

<https://predictionone.sony.biz/product/mlops/>

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社は、機械学習を用いた予測分析ツール「Prediction One(プレディクション ワン)」において、「モデル監視機能」を 3 月 29 日より新たに提供します。「モデル監視機能」は予測分析の運用フェーズにおいて、AI モデルの精度劣化や傾向の変化をモニタリングし、精度劣化が起きている項目を発見しやすくする機能で、ビジネスの現場で安定的に質の高い AI モデルの運用の実現をサポートします。

Prediction One

2019 年 6 月に提供開始した「Prediction One」は、機械学習やプログラミングなどの専門知識がなくても数クリックの簡単な操作で予測分析ができるツールです。これまで一部の専門職に限られていた AI による予測分析を、一般ユーザーのパソコンからシンプルで直感的なインターフェースを通じて簡単に利用することができ、申込企業数は累計で 21,000 社を超えています。

「Prediction One」をはじめとする予測分析ツールは過去の実績データなどをもとに AI モデルを構築しますが、時間の経過により、モデル構築時に使用したデータと予測時に使用するデータの間にギャップが生じるケースがあります。特に新型コロナウイルスの影響で 環境や人々の行動様式が変化しやすい昨今では、AI モデルが陳腐化する傾向があり、状況に応じてモデルの再学習を検討する必要性が増えています。そのような状況のなか、今回導入する「モデル監視機能」は、ビジネスの実態と AI モデルとの乖離を察知し、モデルの品質を維持することで、効率的な AI 運用を可能にすることをめざします。

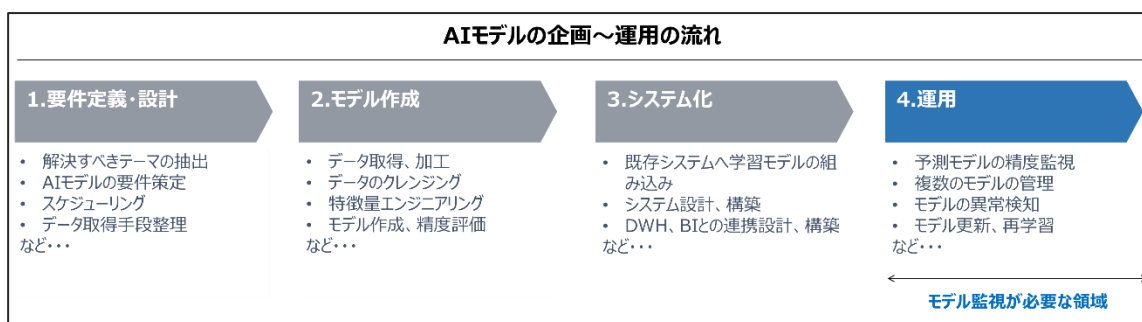
「モデル監視機能」は、Prediction One クラウド版の「アドバンスプラン」以上に搭載し、該当のプランで API 機能を利用する場合は無料となります。



モデル監視機能イメージ

昨今、様々な企業でDX(デジタルトランスフォーメーション)が重要な経営戦略のひとつになっています。通常、変化する事象に対応し、予測モデルの保守・運用の環境基盤を構築するには、専門知識を持ったエンジニアやデータサイエンティストが必要になりますが、AI や機械学習を用いた技術をビジネスに活用するには、現場主導で利用しやすい AI 基盤の導入が重要です。加えて、企業内での継続的な運用にあたり、システムでの自動化や、モデル管理のし易さが求められます。

「Prediction One」は、今回新たに「モデル監視機能」を追加することで、AI モデルの企画から、開発、システム化、モニタリングまで一気通貫で可能となり、さらなる AI の開発加速とビジネスにおける活用を支援します。

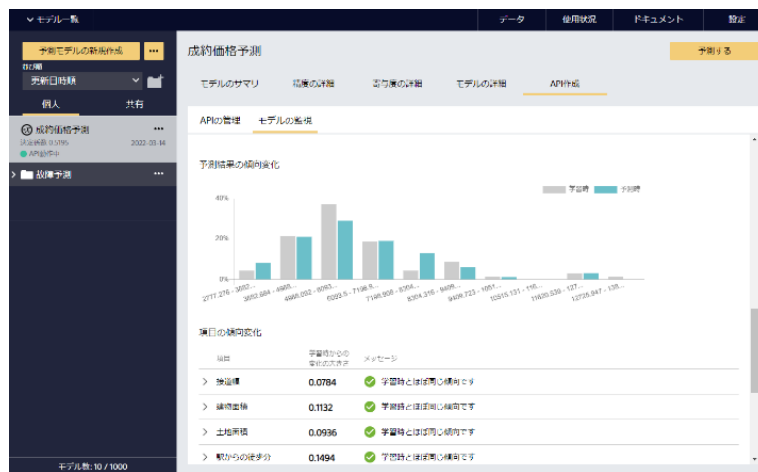


「Prediction One」モデル監視機能概要

■主な機能と特徴:

1. ノーコードで操作可能

監視画面は、Prediction one クラウド版の WEB 画面から利用でき、複雑なプログラム言語を用いることなく利用できます。グラフによって精度劣化が起きている項目を可視化するため、高度な技術を持った人員でなくとも運用が可能になります。



モデル監視機能イメージ

2. メールアラート

日単位、週単位でメールを受け取ることができます。モデルの変化を検知してアラートがあがることで内容を把握することが可能になります。

3. 稼働状況の確認

各モデルに対する稼働状況を確認することができます。現在動いている API のリクエスト数とエラー数、予測精度や項目の傾向変化、予測結果の変化といった予測 API に使用しているデータが学習時から変化しているかをサマリとして確認することが可能になります。

■対象・利用イメージ:

企業のビジネス現場でのシステム運用者、AI を活用したシステム構築を検討している DX 推進担当者、サービス企画担当者などの利用を想定しています。

■提供開始 : 2022 年 3 月 29 日(火)

■提供プラン： Prediction One アドバンスプラン以上に搭載（※アドバンスプラン以上でかつAPI機能を契約している場合は無料で利用できます）

	スタンダード	アドバンス	エンタープライズ
学習の計算時間（*1）	100時間 / 月	300時間 / 月	問い合わせ
モデル数上限（*1）	200モデル	300モデル	
データ保存容量（*1）	10GB	100GB	
共有スペース	○	○	○
テクニカルサポート	○	○	○
価格（税抜き）	198,000円 / 年（*2）	1,200,000円 / 年（*2）	問い合わせ
アカウント数	1	5	
予測APIの利用	×	○（*3）	○
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 1～2名での利用 小規模データを利用 PoC、自動化をしない業務利用 	<ul style="list-style-type: none"> 5名～のチームでの利用 中規模データを利用 APIでの自動化の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 組織の共通ツールとしての導入 大規模データを利用 社内研修での活用からAPI利用まで幅広くカバー

（*1） アカウント毎の上限です

（*2） 1アカウントにつき、1人分の利用が可能です

（*3） 価格（税抜き）：198,000 / 1モデル / 年間です。プランにはトライアル用のAPI機能が1モデル含まれます

Prediction One クラウドプラン

■販売場所：グループ会社のソニービズネットワークス株式会社にて問い合わせを受け付けます。<https://biz.nuro.jp/ai/predictionone/consultation/>

※記載されている会社名および商品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

※記載の料金は全て税込み価格です。

※こちらに記載されている情報は、発表日現在のものです。検索日と情報が異なる可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

以上